

第2回新型コロナウイルス感染症対策委員会記録

1 会議の日時	令和2年3月13日	開 会 午後 4 時 4 5 分 閉 会 午後 5 時 2 2 分
2 会議の場所	議会西棟第1会議室	
3 出席者	委 員	全 議 員
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	事務局長 市川篤丸 議事調査課長 籠橋智基 他関係職員	

5 会議に付した案件		
件	名	審 査 の 結 果
1	岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会について	

6 議事録（要点筆記）

○小川恒雄委員長

ただいまから、第2回新型コロナウイルス感染症対策委員会を開催する。

県では、先月28日に、新型コロナウイルス感染症対策総合アクションプランを取りまとめ、関係機関と連携しながら取組みを進めていただいているが、このたび、国から、第2弾となる「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」が示されたことを踏まえ、引き続き、総合的な取組みを進めて行く必要がある。

そこで、本日は、今後の取組みについて協議を行うため、第2回の対策委員会を開催するに至ったものである。

本日の委員会には、平木副知事に出席いただいているので、はじめに挨拶をお願いし、続いて執行部から説明をお願いしたい。

（平木副知事挨拶）

（堀健康福祉部次長説明）

（市橋健康福祉部参事説明）

（桑田商工政策課長説明）

○小川恒雄委員長

ただいまの説明に質疑はないか。なお、質疑は一問一答でお願いする。

○伊藤英生議員

厚生労働省から、3か月後のピーク時の患者数等を計算式で算出する方法が示されたが、県としてピーク時の患者数等を出す予定はあるか。

○堀健康福祉部次長

厚生労働省の計算式は、年代ごとの人口に一定の率をかけて算出するもので、入院患者数を計算すると3,700人と算出されるが、県内の病床数約13,000の3分の1を占めるもので大変大きなものとなっている。今後、厚生労働省において、説明をされると聞いており、どのような前提で算出される数値なのかよく確認したうえで対応してまいりたい。

○伊藤英生議員

改正特措法に基づき、県の対策本部が設定された場合、新型インフルエンザ特措法に基づいて作成された行動計画について、今後見直しは行う考えがあるか。

○渡辺健康福祉部課長

県の行動計画については、新型コロナウイルスの感染の状況等をみて必要であれば、検証した上で、見直しを行いたい。

○水野吉近議員

今後10日間のイベントの自粛が示されているが、今後の先行きが見えず自粛ムードが広がる中、何等かの方向性を県として示す必要があると思う。国の流れとは違った形での判断が必要かと思うが、昨日の市町村の意見や岐阜県の現状を踏まえてどう判断していくつもりか。

○市橋健康福祉部参事

政府の専門家会議では依然として警戒を緩めることはできないとの判断を示しており、19日には、北海道等の状況も踏まえて見解を示すとされているので、そうした点を踏まえて検討していく。

○広瀬修議員

P13の(1)③医療提供体制の整備、『人工呼吸器、簡易陰圧装置等の更なる確保』について、県内に、人工呼吸器は何台あるのか。

○兼山健康福祉部長

人工呼吸器の台数については、現在確認中であるが、感染症医療機関や結核病床をもつ医療機関について、現時点で確認できているのは116台である。国のシミュレーションでは、重症患者の人数が123人であるので、今後、県内全部の医療機関からの回答を確認したうえで、補正予算などを活用して確保していく。

○川上哲也議員

日本政策金融公庫の無利子無担保の融資の審査自体は、今までどおりか、緩むのか。

○桑田商工政策課長

本日開催した金融対策会議に、日本政策金融公庫岐阜支店長にも出席いただき、柔軟な対応をお願いしたところ。また、窓口においても様々なご相談を受けていただいているところである。まずは日本政策金融公庫にご相談いただくのが一番良いと思われる。

○川上哲也議員

審査に外れた事業所への支援は今のところ無いということで良いか。

○桑田商工政策課長

日本政策金融公庫の制度が一番有利な融資ではないかと思われる。県制度融資で拡充等を行っているが、ここまで有利な融資制度は無い。

○高木貴行議員

感染症指定医療機関とはどこの医療機関でそれぞれ何病床あるのか。361病床について公表されるのか。

○井戸感染症疾病対策監

県内5圏域に各1箇所ずつあり、岐阜圏域は岐阜赤十字病院、西濃圏域は大垣市民病院、中濃圏域は中濃厚生病院、東濃圏域は県立多治見病院、飛騨圏域は久美愛病院である。病床数は、岐阜赤十字が8床、久美愛病院は4床、残りは各6床である。

○堀健康福祉部次長

361病床について、医療機関の公表はおこなっていない。

○山本勝敏議員

P13の(1)④マスクなどの確保・配分、『県としての独自の確保努力』について、どのような独自の確保努力をしていくのか。紙製マスクがなかなか手に入らない状況の中、奈良県の下着メーカーが、下着の素材を使ってマスクを製造し、販売し始めたと聞いている。県内のアパレルメーカーに対して布製マスクの製造を要請することも検討しているのか。

○兼山健康福祉部長

紙製マスクについては、県内でマスクを製造している業者も含めて、県内の消費者へ優先的に販売いただくよう努力しているところ。ご指摘の県内のアパレルメーカーに対する布製マスク製造の要請については、県内に要請できるメーカーがあるのかを調査し、県内、県外のメーカーも含めて、要請できるように検討していく。

○小川恒雄委員長

質問も尽きたようなので、これにて、執行部の説明を終了する。

以上で本日の議題は終了したが、この際、何か意見などはないか。

(発言する者なし)

○小川恒雄委員長

意見もないようなので、これをもって第2回新型コロナウイルス感染症対策委員会を終了する。

第2回 新型コロナウイルス感染症対策委員会 配席図

令和2年3月13日(金) 全常任委員会終了後
議会西棟 3階 第1会議室

			森島 人事課 人事管理対策監	松田 税務課長	高橋 管財課長	安村 市町村課長	瀬川 地域スポーツ課 スポーツ施設企画監	広瀬 消防課長	可知 林政課長	林 技術検査課長	岩田 公共建築課長	加藤 出納管理課長	青山 特別支援教育課長	
--	--	--	----------------------	------------	------------	-------------	----------------------------	------------	------------	-------------	--------------	--------------	----------------	--

長谷川 広報課長	大城戸 労働雇用課長	田口 農政課長	田口 農産物流通課長	足立 農業経営課長	井戸 農産園芸課長	後藤 畜産振興課長	金武 都市公園課長	幸畑 公共交通課長兼 リニア推進室長	子林 文化創造課長	有田 文化伝承課長	松本 教育総務課長	坂井 総合教育センター長 兼学校支援課長	狩野 体育健康課長	古田 子育て支援課長
-------------	---------------	------------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------------------	--------------	--------------	--------------	----------------------------	--------------	---------------

久野 商業・金融課長	兼松 観光企画課長	桑田 商工政策課長	井戸 保健医療課 感染症・疾病対策監	渡辺 健康福祉部課長	浅井 健康福祉部課長	堀 健康福祉部次長	平木 副知事	兼山 健康福祉部長	市橋 健康福祉部参事	板津 健康福祉部課長	鹿嶋 健康福祉部政策課 管理監	林 健康福祉部政策課 管理監	前田 県民生活課長	河田 私学振興・青少年 課長
---------------	--------------	--------------	--------------------------	---------------	---------------	--------------	-----------	--------------	---------------	---------------	-----------------------	----------------------	--------------	----------------------

入口

○ 議長
○ 副議長
○ 議会事務局長

議 員 席